

学校だより



教育は愛



令和6年12月2日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ 感動！「本太スマイル音楽会」！

11月30日(土)の「本太スマイル音楽会」では、保護者・地域の皆様からあたたかい応援とご協力を頂戴致しました。

心より感謝申し上げます。子どもたちの合唱・合奏はいかがでしたか？

きっと、子どもたちの素直な心や熱い思いが皆様の胸にも届いたのではないのでしょうか。私は、友だちや先生のことを信頼して、力一杯表現している子どもたちの姿に深く感動してしまいました。

この音楽会を通して、深めた友情や絆は、子どもたちにとっても大切な宝物です。

そして、1年生は「初めての」、6年生は「最後の」音楽会です。きっと、特別な思い出となり心に深く刻まれたことでしょう。



◆ 『藤井聡太ものがたり』を読んで

ブックランドに『藤井聡太ものがたり』という絵本が入りました。書店でも大人気で発売されるとすぐに売り切れてしまったそうです。聡太少年は、対局で負けてしまった時「思い切り悔しがろう。それから、なぜ、負けたのか、しっかり考えよう。そして、いつまでもくよくよしないで負けたことは、忘れ、次へと気持ちを切り替えよう」と考えたそうです。「将棋には相手がいる。相手がいれば、負けることは必ずある」そう思うようになってからは、精一杯、のびのびと悔いなく将棋を指すことを目指せたそうです。

そうして歩んだ結果が8冠達成です。

藤井氏は、巻末に「夢中になれるものを見つけてくださいね」と子どもたちにメッセージを贈っています。本太小学校の子どもたちにも、ぜひ、夢中になって取り組めるものを見つけてほしいと願います。夢中になること、それは「生きる力」の原動力です！

◆ 表現力の向上！

タブレットPCの導入により、子どもたちの学びは大きく変わりました。インターネットで必要な情報を収集し、自分の課題を掘り下げていきます。そして、PC上で瞬時に反映される友だちの考えを見ながら自分の意見と比べたり、意見を修正したりすることが可能となりました。新しい学びです。この学びにより、子どもたちの表現力は飛躍的に向上しました。特にプレゼンでは、大人顔負けの資料を準備して、堂々と発表しています。また、委員会活動では、タブレットPCを活用して自分たちで企画した動画番組を作成し、全校放送しています。

今後、子どもたちには、大谷翔平選手のように、世界を舞台に活躍することが益々期待されるでしょう。そのためには、誰もが納得できるような表現力を磨く事は、大変重要です。今の本太小学校の子どもたちを見ていると、将来がとても楽しみになります。



◆ 師走

師走に入りました。私たちも慌ただしく仕事に追われがちです。しかし、決して走り去ることなく、地に足を着けて、しっかりと子どもたちに寄り添い、教職員で一致団結して教育活動を推進してまいります。

保護者・地域の皆様、今月もご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

◎「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために～